

日本経済政策学会第57回大会

日本経済政策学会（会長：横井弘美・名古屋学院大学教授）の第57回大会（準備委員長：比嘉 堅・沖縄国際大学教授）が2000年5月27日（土）～28日（日）の2日間にわたって沖縄県宜野湾市の沖縄国際大学で開かれた。今回は「21世紀日本の再生と制度転換」がテーマとなっており、そのテーマの下に初日には共通論題報告・討論が行われ、2日目には14の自由論題報告セッションが設けられた。そのうちの4セッションは「大学院生コーナー」と命名されていた。また、5月26日（金）には同大会との関連で、またサミット開催を睨んで、2000年・沖縄特別国際シンポジウム「21世紀アジア太平洋の中の日本そして沖縄——発展の方向をさぐる——」が沖縄コンベンションセンターで開催された。人口に関連する報告は自由論題報告の以下の2セッションに分散していた。

Session 6 「環境政策」

<座長> 今泉博国（福岡大学）

(1) 東南アジア都市における環境と健康

<報告者> 小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）

<討論者> 駿河輝和（大阪府立大学）

Session 10 「労働経済」

<座長> 杉野元亮（九州共立大学）

(1) 男女別失業者の産業部門に与える影響

<報告者> 杉浦立明（群馬工業高等専門学校）

<討論者> 竹歳一紀（桃山学院大学）

(2) 出生率反転への政策選択——保育所民営化とPFI導入試論

<報告者> 橋山禮治郎（帝京平成大学）

<討論者> 喜屋武臣市（亜熱帯総合研究所）

残念ながら2つのセッションが同時に開催されたため、筆者は「労働経済」のセッションを傍聴できなかった。（小島 宏記）

日本中東学会第16回大会

日本中東学会（会長：佐藤次高・東京大学教授）の第16回大会（準備委員長：小山皓一郎・北海道大学教授）が2000年5月13日（土）～14日（日）の2日間にわたって札幌市の北海道大学で開かれた。初日の午後には公開記念講演、公開シンポジウム、総会が行われ、2日目には午前から午後につながる4部会が設けられた。第4部会はパネルディスカッションで午後は以下の通り、人口にも関連するテーマのシンポジウム形式のものであった。

「中東におけるジェンダーとセクシュアリティ」

コーディネーター：加藤 博（一橋大学） 白杵 陽（国立民族学博物館）

パネリスト：

長沢栄治（東京大学）

「アタバの娘事件を読む——現代エジプトにおける性の象徴性」